



クライストチャーチボーイズ高校 国際ラグビープログラム

本ラグビープログラムは、クライストチャーチボーイズ高校のラグビーの歴史と伝統を留学生のみならずとも共有するため、同校が主導するプログラムです。

クライストチャーチボーイズ高校のラグビープログラムはニュージーランドにとどまらず、世界中の中・高校レベルのトップとして認知されてきました。

参加していただくプログラムは経験豊富なコーチングスタッフによってコーディネートされます。昼は学校の授業に出席し、放課後にスキル・フィットネストレーニング、コーチングセッション、チーム練習に参加します。

国際ラグビープログラムは、これらを提供します。

- ラグビーをプレーするために適したホームステイ
- 後見人
- 技術向上のためのトレーニング
- チーム練習及び、週一回の試合
- プロのトレーナーとの筋肉トレーニング及び、調整
- 本校卒業生である現役オールブラックス選手との定期的なトレーニング

このプログラムは、すべてのラグビー選手達がそれぞれの学術的、肉体的そして技術的な可能性を最大限に伸ばすことを狙いとしています。

ラグビーワールドカップ2011

2011年においても、本校では勉強面とラグビー面でのサポートに全力を尽くし続けるだけでなく、9月開催予定のワールドカップに向けて、さまざまな催し物を準備しています。

- ワールドカップ観戦
- 出場チームの練習見学
- 2011年で7度目となる、本校で開催される国際ラグビーフェスティバルへの招待。





クライストチャーチボーイズ高校のラグビー

クライストチャーチボーイズ高校はスポーツの分野において古く、栄光に輝く伝統を保ち続けています。

ラグビーにおいては、現在までに41名のオールブラックス（NZ代表）を送り出しています。近年ではアンドリュー・マーテنز、アーロン・メジャー、ネーサン・メジャー、デイブ・ヒューイット、そしてダニエル・カーターなどです。OBには国際的にコーチとして活躍しているスティーブ・ハンセン、そして現オールブラックス監督であるグラハム・ヘンリーなどもいます。

本校ラグビークラブはニュージーランドのチャンピオンとして、サニックスワールドユース大会に2005年、2006年に出場。2年連続で同大会優勝を飾りました。

現在、5名のOBがスーパー14のクルセイダーズにてプレー、多くのOBがスーパー14や州代表としてプレーし、そして3名のOBが7人制ニュージーランド代表に選ばれています。また、4名の卒業生が2007年のU19ニュージーランド代表としてプレーしています。さらに本校卒業生の小野晃征は2007年のワールドカップ日本代表スコッドに選出されました。

クライストチャーチボーイズ高校のラグビークラブでは、すべてのレベルにおいて経験豊かで専門的なコーチが指導をしています。また、ウェイトトレーニングセンター、2つの体育館、そして屋内トレーニング場など、近代的な施設が充実しています。

現在クラブは（約450名の選手、60名のコーチとマネージャー）を有し、様々なレベルの地域大会や全国大会に出場しています。

本プログラムに参加する学生は本校の普通科にて学生生活を送ります。また英語補修等のサポートも受けることができます。

およびクライストチャーチ男子高校のホームページ www.cbhs.school.nz をご覧下さい。

ホームページ：www.cbhs.school.nz/international

Eメールアドレス：international@cbhs.school.nz

